

孤独の中より生み出された真摯で高貴な、そして純粋な魂の結晶。

2002年以来 折に触れて取り上げられ、その度に絶賛を博してきた漆原朝子&ベリー・スナイダーのシューマン・プロジェクト、遂に京都で実現!



ロベルト・シューマン(1810.6.8~1856.7.29)



©Kojima Concert Management Co., Ltd

北山クラシック倶楽部 2018

漆原朝子 & ベリー・スナイダー

Asako Urushihara, Violine & Barry Snyder, Klavier

シューマン:ヴァイオリン・ソナタ 全3曲 & 3つのロマンス

Robert Schumann: Drei Violinsonaten und Drei Romanzen

ヴァイオリン・ソナタ第1番 イ短調 op.105

Sonate für Violine und Klavier Nr.1 a-moll op.105

ヴァイオリン・ソナタ第3番 イ短調 WoO27

Sonate für Violine und Klavier Nr.3 a-moll WoO27

3つのロマンス op.94

Drei Romanzen für Violine und Klavier op.94

ヴァイオリン・ソナタ第2番 ニ短調 op.121

Sonate für Violine und Klavier Nr.2 d-moll op.121



©Naoya Yamaguchi, studio Diva

2018.12/21

金

19:00開演 (18:30開場)

京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

京都駅から徒歩で15分「北山駅」下車 Friday 21 December 2018 19:00 at Kyoto Concert Hall Ensemble Hall Murata

入場料(全席指定・税込)

●一般券(指定席) ¥4,000 ●京都コンサートホール・ロームシアター京都Club・京響友の会会員 ¥3,600 (販売枚数限定有 ※京都コンサートホール・ロームシアター京都のみにて取扱)

※前売券の販売枚数が会場定員に達した場合は、当日券の販売はございません。※未就学児のご入場はご遠慮願います。
※やむを得ない事情により、演奏曲目等が変更となる場合でも、公演中止以外での入場料払戻は致しませんのであらかじめご了承願います。

主催: コジマ・コンサートマネジメント 共催: 京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) / 京都市 後援: 村田機械株式会社

ご予約・お問い合わせ

KCM チケットサービス

☎ 0570-00-8255

コジマ・コンサートマネジメント内 Kojima Concert Management Co.,Ltd
(平日10:00~18:00/土10:00~15:00/日祝休業)

<http://www.kojimacm.com>

(インターネット予約・年中無休)

チケット 2018.7/31(火) 一般発売開始

会員先行 2018.7/28(土) 発売!

京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会 会員対象

チケット発売所

◎京都コンサートホールチケットカウンター ☎075-711-3231 10:00~17:00 休館日: 第1・第3月曜日(休日の場合はその翌日)

◎ロームシアター京都チケットカウンター ☎075-746-3201 10:00~19:00 年中無休 ◎24時間オンラインチケット購入 [京都コンサートホール] 検索

◎KCMチケットサービス(全国共通) ☎0570-00-8255 / KCMチケット Tokyo ☎03-5379-3733

◎ローソンチケット ☎0570-00-0407 ◎チケットぴあ ☎0570-02-9999

◎イープラス <http://eplus.jp> (ファミリーマート、セブン-イレブンでも入場料支払・チケット受取出来ます。)

アーティスト情報は
ウェブで!

<http://www.kojimacm.com>

でご覧頂けます。

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

検索

このコンサートをあなたのSNSでご紹介して頂くとチケット割引サービス!

facebook twitter etc.

ご自身のSNSで当コンサートを宣伝(シェア等)していただいた方には、4,000円のチケットを2,500円でお1人様2枚までご購入いただけます。
(※座席箇所指定不可。※普通郵便料はKCMが負担します。)*定価でご購入後のチケットの割引はいたしませんので、あらかじめご了承ください。*7月31日より受付開始(予定)当枚数販売完了時点で終了)

●チケットご予約・ご購入の前に、このコンサートをお友達などにシェアするなどしてご紹介していただいた情報の記録(URLや画像)のコピーを
KCMオフィシャルサイト <http://www.kojimacm.com> 本公演掲載ページの「KCM SNSキャンペーンフォーム」に貼り付けてお送りください。
当社で確認後、フォームに記載頂いたメールアドレスに割引券購入のご案内を返信いたします。



孤独の中より生み出された真摯で高貴な、そして純粹な魂の結晶。



ボン市内アルター・フリートホフ内にある、ローベルト&クララ・シューマンの墓碑

シューマンは生涯に3つのヴァイオリン・ソナタを書いた。第1番と第2番は1851年、第3番はライン川に身を投げる前年の1853年に書かれている。しかし、第3番は没後100年を経た1956年ようやく出版されるまでの長い間、闇の中にあったこと、さらに一部に演奏至難な箇所があるため、今日でも演奏されることは少なく、まだその存在への認知すら未だ充分ではない。

生涯を賭けた大作『ゲーテの“ファウスト”からの情景』も同じ1853年に完成されており、最初の作品となったヴァイオリン協奏曲とともに、やがて悲劇的な終末を迎えるシューマンの『遺言』のような作品である。

漆原朝子とベリー・スナイダーは2002年6月19日に神戸新聞松方ホールでシューマンが残したヴァイオリンとピアノのための作品を全て一夜に演奏した。当時としてはあまり類例のない、しかし本来必然的であるはずの『全曲演奏』は、大きく注目されることとなり、全国から熱心な聴衆が神戸に集まって演奏会が開かれたことは鮮烈な光景であった。新聞・雑誌などでも絶賛され



療養所2階にある小さな2部屋がシューマンが最期に過ごした部屋であり、今も実際にここで使用していたピアノや遺品、死亡診断書などが展示されている。



©Kojima Concert Management Co., Ltd

ボン=エンデニヒの旧フランツ・リヒャルト博士の精神病院療養所(現在=ボン市立音楽図書館・シューマン記念館)。自ら精神病院に入院することを希望したシューマンは、ライン川への投身自殺未遂の後、1854年3月4日“患者159番”としてこの療養所に入院し、1856年7月29日、息を引取るまで、2階の手前右側の窓のある部屋で過ごした。

たこの公演の様子は現在でもライブCDで聴くことができる。また漆原とスナイダーはシューマンの生誕200周年を記念して2010年10月に東京文化会館で同一のプログラムを演奏しており、この公演はNHK-FM「ベスト・オブ・クラシック」で放送されたが、反響が大きかったようでその後も繰り返し再放送された。本年12月に漆原&スナイダーが京都で“オール・シューマン・プログラム”を演奏するのは関西圏では前述の2002年神戸公演以来のこと。尚、今回の京都でのコンサートで配布するプログラムには、2002年の神戸公演のためにシューマン研究の世界的権威である前田昭雄教授が特別寄稿して下さった楽曲解説を復刻掲載する予定です。

漆原朝子(ヴァイオリン)

Asako Urushihara, Violine



©Naoya Yamaguchi, studio Diva

日本を代表する国際的ヴァイオリニストの一人である漆原朝子は東京藝術大学附属高等学校在学中に第2回日本国際音楽コンクールにおいて最年少優勝並びに日本人作品最優秀演奏賞を受賞し、一躍内外の注目を集めた。東京藝術大学に入学した翌年、文化庁芸術家在外研修員としてジュリアード音楽院に留学。ヴァイオリンを徳永二男氏、ドロシー・テイレイ女史らに師事。

1988年、NHK交響楽団定期公演でのデビューに引き続き、ニューヨークでリサイタルデビューを行い、ニューヨーク・タイムズ紙で「1920年代の巨匠を思わせる演奏」と高く評価され、翌年のケネディ・センターでのリサイタルでは、ワシントン・ポスト紙に「恐るべき才能」と絶賛された。さらにマールボロ音楽祭では、リチャード・グード等との共演に加えて、往年の巨匠ルドルフ・ゼルキンに認められて共に演奏する。尚、この演奏会はゼルキンにとって生前最後の公演となった。1992年ウィーン・ムジックフェラインザールでのリサイタル以後は次第にヨーロッパでの活動が活発化し、ザルツブルク、ルツェルン、ウィーン芸術週間、シュヴェツツィンゲン、ベルリン・ビエンナーレ、パリの秋、ダラムシュタットなどの音楽祭にも度々登場するほか、欧米各地で数多くのリサイタルツアーを行う。

漆原朝子は多くの指揮者・オーケストラから常に高い信頼を得ており、ホルスト・シュタイン、フェルディナント・ライトナー、ジャン・フルネ、ガリ・ベルティニ、エサ・ベッカ・サロネン、ズデネク・マーツァル(マカル)、イルジー・ピエロフラーヴェク、マルティン・トゥルノフスキー、ベルンハルト・クレ、アレクサンドル・ラザレフ等の指揮者や、ハンガリー国立響、ブラハ放送響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、モスクワ国立響、ポリティモア響、ミルウォーキー響、南西ドイツ放送響、ミュンヘン室内管弦楽団、ワルシャワ・フィルなど欧米各地のオーケストラと共演するほか、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティフィルなど日本の主要オーケストラとも度々共演している。

これまでに、第4回アリオン賞(87年)、モービル音楽賞奨励賞(90年)等を受賞。また、CDも古典から現代前衛作品に至る、非常に広範なレパートリーを多数リリースしているが、2002年に行われ、各方面から注目と賞賛を得た『漆原朝子のシューマン〜ヴァイオリンソナタ全3曲&3つのロマンス』(ピアノ=ベリー・スナイダー)のコンサートライブCDを2003年6月にリリースし、作品の再評価を大きく促す名演、演奏家としてのめざましい充実などと非常に高い評価を得ている。さらに、2004年 その続編として開催された『漆原朝子のブームス〜ヴァイオリンとピアノのための作品完全全曲演奏会』も新聞評などで絶賛を博し、この模様もやはりディスクとして2005年6月にリリースされ、同様に高い評価を得ている。2006年にはシューマン没後150周年を記念して最晩年の傑作ヴァイオリンソナタ全曲を再び取り上げるほか、大阪センチュリー交響楽団 シューマン・ツィクルスにも登場し大きな注目と賞賛を得た。2008~09年にはベリー・スナイダー、ロータス・カルテットと共に『シューベルト:ヴァイオリン作品全集』をレコーディング。

ベリー・スナイダーとは20年以上にわたってデュオを組んでおり、2009年にオール・シューベルト、2010年には生誕200周年記念 シューマン・プログラムなどテーマ性をもったリサイタルツアーをその後2013年、2015年にも行っている。また、2012~13年には東京と大阪でベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ全曲ツィクルス(ピアノ=鈴木慎崇)を行い、聴衆にひときわ深い感銘を与えた。

近年では、ライブワークの一つでもある大作 エルガー:ヴァイオリン協奏曲を、指揮者 ジョセフ・ウォルフと共に2013年広響定期、2015年 群響定期・東毛定期、2017年 兵庫芸術文化センター管弦楽団定期(三公演)で共演を続けており、兵庫での演奏はライブレコーディングCDとしてリリースされて話題となり、各方面より高評を得ている。姉 漆原啓子との共演で、平成26年度 文化庁芸術祭レコード部門優秀賞受賞。

現在、東京藝術大学教授 大阪音楽大学特任教授。

ベリー・スナイダー(ピアノ) Barry Snyder, klavier



©Naoya Yamaguchi, studio Diva

多彩な音楽家として、国際的にも高く評価されており、その演奏活動も広範囲に及ぶ。1966年、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて3つの賞を受賞し、注目を集める。

以後、レコーディング活動を積極的に行うと同時に、約40年にわたって世界の主要都市で数多くのコンサートを行ってきた。これらの演奏ではソリストとしてR.ショー、L.ストコフ

スキー、D.ジマン、C.デュトワ、S.アーリングなどの指揮による、デトロイト響、ワシントン・ナショナル響、ヒューストン響、アトランタ響、シンガポール響、日本フィルなどと協演。

また室内楽奏者としての評価も高く、これまでH.ブレイ、J.Dガエタニ、Z.ゼイトリン、A.カバフィアン、漆原朝子、S.ローゼンバーグ、また、ザ・クリエーション、バセール&カーティスカルテット、ボニタ・ボイド、スティーブン・ドアンヌらと共演する。

現代音楽にも意欲的に取り組み、V.レイノルズの“Florilegium. Vols.I&II ーソロピアノのためのー”、“ピアノと管弦楽のための協奏曲”、C.パンの“ベリー・スナイダーのための即興曲”といった曲を献曲されている。

また、S.ホドクソン、A.R.トーマスらの作品を世界初演を行う。1970年よりイーストマン音楽院ピアノ科教授を務めるほか、ロイヤル・ノーザン・カレッジ・オブ・ミュージック(マンチェスター)、トリニティ・カレッジ、ギルドホールスクール(ロンドン)、アカデミー・オブ・ミュージック(ポーランド)、フライブルク音楽学校(ドイツ)、マンハッタンスクール・オブ・ミュージック(ニューヨーク)、ミシガン大学、ヒューストン大学などでもマスタークラスを行っている。近年では“最も望まれるピアノ教授”としてその名が挙げられている。

又、ベリー・スナイダーは、国際的ジャズ・ピアニストとして著名な小曾根 真にオーセンティックなクラシック奏法を伝授した師でもある。